

令和7年度 教科研修会Ⅰ 音楽科 授業の様子

題 材 名	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。		
授 業 学 級	3年B組(40名)	授 業 者	志賀 浩介
教 科 の 学 び	旋律や強弱に着目しながら、歌唱表現を創意工夫する学習		

【本時の様子】

生徒は、「花」の3番の部分から想像した情景や感じ取った気持ちを歌唱で表すために、旋律の歌い方や強弱の生かし方に着目して、友と意見共有をしたり歌い試したりしながら表現方法を追求しました。

「『げに一刻も千金の』の部分は、気持ちの高まりを表せるようにハキハキと歌いたい」と考えた生徒の発言から、「ハキハキ」歌うにはどうすればよいか全体で考え、友と意見交換や歌い試しを行う中で、「一語一語をはっきりと歌う感じ」という考えが全体に提案されました。その後、全体でも歌い試しを行う中で、「ハキハキ」と気持ちの高まりを表現する歌い方を見いだすことができました。

その他にも「『おぼろづき』の部分は、おぼろづきの感じを出すために優しい感じで歌いたい」「最後の『ながめを何にたとうべき』の部分は気持ちの高まりをクレッシェンドとフェルマータで表したい」と思いや意図を語る生徒の姿がありました。

本題材は本時で終了ですが、今回のような旋律の歌い方や強弱の生かし方といった視点を基に、生徒たちは音楽集会や学年合唱での表現を追求していくことと思います。学んだことが授業外の歌唱活動に生かされていくような授業の展開を今後も考えていきたいです。



友と歌い試す様子



友と意見交換する生徒



全体追究の様子



本時の板書